

あらた八街第2事業所 支援プログラム

作成日 令和7年1月10日

法人理念	「療育の最大の目的は、こどもの幸福である」		
支援方針	「こどもにおける最大の環境は、療育者自身である」との自覚を持ち、児童の主体性と個性を尊重し、様々な場面において可能な限り自己決定できるよう支援します。		
営業時間	① 平日 11:30～18:30 ② 休日 8:30～17:30	送迎実施の有無	有

プログラム	主な支援内容（中心となる5領域）				
活動の流れ	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係 社会性
登所	検温 衣服の着脱		ロッカー位置確認 連絡帳の提出 席の確認	挨拶・返事	
学習	正しい姿勢 鉛筆の持ち方		宿題・課題プリント		
始まりの会	ハンカチ確認		一日の流れの確認 ビジョントレーニング	司会 挨拶、返事	
プログラム	調理 駄菓子屋さんごっこ	体幹トレーニング 音楽 ダンス ラジオ体操	音楽 ビジョントレーニング レクリエーション 工作 メタバース ドローン	SST	集団ゲーム 自由時間での友達との関わり、遊び
所外活動	外食	公園	図書館・美術館 博物館等見学	四事業所交流会	買い物体験
昼食	手洗い 箸の使い方 姿勢				
クーリングタイム		ストレッチ 歌	ビジョントレーニング クイズ、などなど	紙芝居 本の読み聞かせ 手話	一人での活動
帰りの会				司会 一言スピーチ	

家族支援

- ・日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や発達上のニーズについて共通理解を持つことが出来るようにします。
- ・保護者が相談しやすいような関係性や雰囲気を作り、相談があったときには信頼関係を築きながら家族の困惑や将来の不安を受け止め、助言を行うようにします。

移行支援

- ・地域社会への参加・インクルージョンの考え方に立ち、全てのこどもが共に成長できるよう、また、同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくりを図っていくようにします。
- ・進学時等のライフステージの移行時に向けて、情報を提供し、学校との連携をとっていきます。

地域支援・地域連携

- ・地域の様々な場面で適切な支援を受けられ、地域の中に居場所を持つことができるよう関係機関と連携していきます。
- ・地域の商店利用やイベント参加を積極的に取り入れ、実体験の中で買い物の仕方、公共施設の使い方や交通機関の利用の仕方を知ると共に社会生活上のマナーを学べるようにします。

職員の質の向上

- ・入職時研修（倫理綱領・職員行動指針・虐待防止啓発・パワーハラスメント・感染対策の基礎知識等）
- ・感染症・防災研修（BCP 含む）
- ・こどもの権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化に関する研修
- ・合同研修（事例検討・外部研修等）

主な行事（R5年度実績）

- 4月 避難訓練
- 5月 草笛の丘
- 6月 こどもの国 キッズダム
- 7月 プラネタリウム、夏祭り
- 8月 4事業所交流会、ミュージアムパーク茨城県自然博物館
- 9月 避難訓練、アンデルセン公園
- 10月 運動会 ハロウィンパーティー
- 11月 紅葉狩り 成田山
- 12月 クリスマス会、4事業所交流会
- 1月 初詣、葛西臨海水族園
- 2月 節分、国立歴史民俗博物館
- 3月 ひな祭り、お花見